

# ハプスブルクの野望

～17ヶ国版～

## ～簡易版ルール別紙～

1.0版

\*\*\*\*\*

### 0A. 本別紙の趣旨

- ・簡易版ルールブックのルール補足および選択ルールです。
- ・本別紙が無くても簡易版ルールだけでゲームプレイは可能です。

### 0B. 【ルール補足】宗教について

- ・人物カードに書かれている“P”や“C”はその人物が属する宗教を表す記号です。意味は以下のとおりです；
  - C:カトリック
  - P:プロテスタント
  - CC:カトリック(狂信的)
  - CP:カトリックとプロテスタントに理解あり(宗教に寛容的)

### 0C. 【選択ルール】山札の色分け

- ・選択ルールです。採用するとプレイ時間が少しだけ短くなります。

#### 0C-01. 【簡易ルール03-01.準備】のルール変更

- ・「もう一度シャッフルして山札を作り直します。」の部分を変更します；人物カードの色別にシャッフルして、色別に裏向けで4つの山札を作ります(裏面はすべて同じ柄ですので、どの山がどの色かわかるように工夫して場に置いてください)。

#### 0C-02. 【簡易版ルール03-03.ゲームの終了】のルール変更

- ・「人物カードの山札がなくなった時点で即座にゲーム終了です。」の部分

を変更します；

色別の山札のうち2つがなくなった時点で即座にゲーム終了です。

### 0C-03. [簡易版ルール03-04. 手番になったとき]のルール変更

- ・「同じになるまで山札から人物カードを引かなければなりません。」の部分を変更(追加)します；

同じになるまで山札から人物カードを引かなければなりません。山札の色は手番プレイヤーが自由に選んでよいです。引く枚数が複数のときはそれぞれ別々の色の山札を選んでもかまいません。

### 0C-04. [簡易版ルール05-02-02. 子作りの成功]のルール変更

- ・「山札の上から人物カードを1枚引きます。」の部分を変更します；  
夫または妻の人物カードと同じ色の山札を選択し、選択した山札の上から人物カードを1枚引きます。すでに人物カードがなくなっている色の山札を選択することはできません。※夫と妻の色が同じで、その色の山札がなくなっている場合は、子作りは失敗となります。

## 0D. 【選択ルール】シナリオ1:カール5世

- ・採用すると初期配置がちょっとだけヒストリカルになります。
- ・史実では1519年ごろです。
- ・【**選択ルール**】山札の色分け」を同時に採用することをお勧めします。

### 0D-01. [簡易ルール03-01. 準備]のルールを一部変更

- ・以下に示す国の横には以下に示す王を置きます(山札から引きません)。
  - 国:オーストリア — 王:カール5世 ※ハプスブルク家
  - 国:フランス — 王:フランソワ1世 ※ヴァロワ家
  - 国:イングランド — 王:ヘンリー8世 ※テューダー家
  - 国:デンマーク — 王:クリスチャン2世 ※オルデンブルク家
  - 国:スコットランド — 王:ジェームズ5世
  - 国:ザクセン — 王:フリードリヒ3世
  - 国:ポヘミア — 王:ラヨシュ2世
- ・上記の王を場に置いた後に、“スレイマン1世”と“ローマ教皇”以外の残りの人物カードをシャッフルして山札を作り、他の国の王を決定します。
- ・プレイヤーが領国を選ぶとき、以下に示す国が他のプレイヤーに選ばれずにまだ残っていればその中から選ばなければなりません(他の国を領国として選んではいけません)。

-オーストリア、フランス、イングランド、デンマーク

- ・全プレイヤーが領国を決めた後、以下(左側)に示す国を選択したプレイヤーがいれば、そのプレイヤーは右側に示す国が場に非プレイヤー国として残っていれば自分の領国にします。それらの国の王は自分の家臣にします。

-選んだ国:オーストリア — スペイン、南ネーデルラント、ヴェルテルンベルク

-選んだ国:フランス — ミラノ

-選んだ国:デンマーク — スウェーデン

- ・上記の他は簡易ルールと同じです(オーストリアのプレイヤーが“教皇”を受け取る、手番が最後のプレイヤーが“死神の鎌”を受け取る、など)。

## 0E. 【選択ルール】シナリオ2:三十年戦争

- ・採用すると初期配置がちょっとだけヒストリカルになります。
- ・史実では1618年ごろです。
- ・「【選択ルール】山札の色分け」を同時に採用することをお勧めします。

### 0E-01.【簡易ルール03-01.準備】のルールを一部変更

- ・以下に示す国の横には以下に示す王を置きます(山札から引きません)。
  - 国:オーストリア — 王:フェルディナント2世 ※ハプスブルク家
  - 国:フランス — 王:ルイ13世 ※ブルボン家
  - 国:イングランド — 王:ジェームズ1世 ※ステュアート家
  - 国:スウェーデン — 王:グスタフ・アドルフ ※ヴァーサ家
  - 国:スペイン — 王:フェリペ3世
  - 国:オランダ — 王:マウリッツ
  - 国:ライン=プファルツ — 王:フリードリヒ5世
  - 国:デンマーク — 王:クリスチャン4世
- ・上記の王を場に置いた後に、“スレイマン1世”と“ローマ教皇”と“オクセンシュルナ”と“ヴァレンシュタイン”以外の残りの人物カードをシャッフルして山札を作り、他の国の王を決定します。
- ・プレイヤーが領国を選ぶとき、以下に示す国が他のプレイヤーに選ばれずにまだ残っていればその中から選ばなければなりません(他の国を領国として選んではいけません)。

-オーストリア、フランス、イングランド、スウェーデン

・全プレイヤーが領国を決めた後、以下(左側)に示す国を選択したプレイヤーがいれば、そのプレイヤーは右側に示す国が場に非プレイヤー国として残っていれば自分の領国にします。それらの国の王は自分の家臣にします。

-選んだ国:オーストリア — (もしスペインが非プレイヤー国ならば) スペイン、ポルトガル、南ネーデルラント、ミラノ ; (もしスペインがプレイヤー国ならば)なし

-選んだ国:スペイン — ポルトガル、南ネーデルラント、ミラノ

-選んだ国:イングランド — スコットランド

-選んだ国:ライン=プファルツ — ポヘミア

・もしスウェーデンを選んだプレイヤーがいれば、そのプレイヤーは“オクセンシェルナ”を家臣として受け取ります。スウェーデンを選んだプレイヤーがいなければ“オクセンシェルナ”は山札に混ぜます。

・もしオーストリアを選んだプレイヤーがスペインを領国にしていなければ、そのプレイヤーは“ヴァレンシュタイン”を家臣として受け取ります。もしオーストリアを選んだプレイヤーがスペインを領国にしていれば、“ヴァレンシュタイン”は山札に混ぜます。

・上記の他は簡易ルールと同じです(オーストリアのプレイヤーが“教皇”を受け取る、手番が最後のプレイヤーが“死神の鎌”を受け取る、など)。

\*\*\*\*\*  
《簡易版ルール別紙製作関係者》

・デザイン …… M-Traum

●奥付

『ハプスブルクの野望 ～17ヶ国版～』(簡易版ルール別紙)

・発行 ア～バイン解放戦線

・HP <http://www.5b.biglobe.ne.jp/~traum/>

・発行者 M-Traum

・メアド [traum@mvg.biglobe.ne.jp](mailto:traum@mvg.biglobe.ne.jp)

・元ゲーム発行 2010年8月13日 初版

・元ゲーム頒布 2010年8月13日 コミックマーケット78@夏

・簡易版ルール頒布 2010年12月29日 コミックマーケット79@冬

・ルール別紙公開 2011年1月3日 Web公開